

■ 作品について

小茂田 青樹 [おもだ・せいじゅ、1891(明治 24)–1933(昭和 8)]

《ポンポングダリア》

1922 年 (大正 11) 絹本着色、軸 78.9×56.0cm 横浜美術館蔵

詩情あふれるおだやかな画風で自然の風景や動植物を描いた日本画家・小茂田青樹は、本作を描いた時期、徹底した写実表現に取り組みました。ポンポングダリアの丸まった細かい花びらの一枚一枚、染付の絵のなめらかな筆遣いや色の濃淡まで、それぞれの質感を描き分け細密にとらえています。茶色がかった葉の色は絵具の退色によるものです。

ダリアは江戸時代末に日本に伝わり、明治から大正時代には広く栽培され一躍人気となりました。ポンポングダリアは多種あるなかでも最も小さい 5cm 以下の花を咲かせる品種です。画中の壺は、描かれた当時すでに帝室博物館（現・東京国立博物館）の所蔵品だった中国・元時代の青花白磁の名品《青花魚藻文壺（せいかがよそうもんつぼ）》です。江戸時代以前より日本に伝えられたこの希少な染付を、小茂田は大変好んでいたといえます。絵の中ならば、自分のお気に入りの壺に、いかようにも花を活けてみることができる。そんな自由を楽しみながら、壺から溢れんばかり方々に茎をのぼすポンポングダリアを描いたのかもしれない。

* 《青花魚藻文壺》（東京国立博物館蔵）の画像は、東京国立博物館ウェブサイト（<http://www.tnm.jp/>）のコレクション画像検索からご覧いただけます。

（横浜美術館）



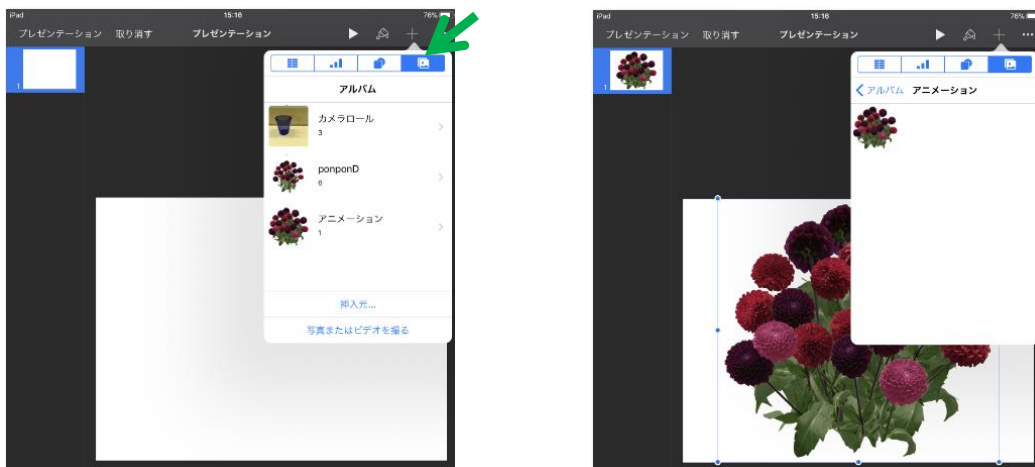
iPad Keynote アプリ

横浜美術館コレクションを活用した鑑賞授業

プレゼンテーション作成に関わる基本操作 ※【】=操作アイコン

■ イメージを追加する

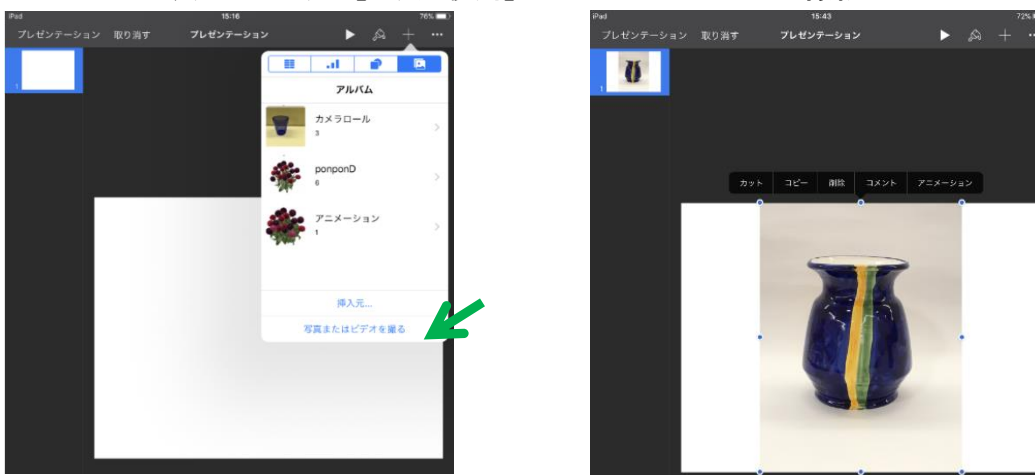
(1) 【+】> 【🖼️】> 【アルバム】より画像をタップすると画面に挿入されます



■ 「Keynote」で写真を撮影してからプレゼンテーションに追加する

(1) 【+】> 【🖼️】> 【写真またはビデオを撮る】>【📷】 ※撮影時は処理し易いよう対象物の背景を単色に

(2) 撮影されたイメージが表示されます>【写真を使用】>プレゼンテーション上に撮影したイメージが追加されます



■ 撮影した写真の一部を透明にする

(1) 【👉】>【イメージ】>【インスタントアルファ】で消したい色をドラッグ

(2) タップ&ドラッグを繰り返し、【終了】をタップ





iPad Keynote アプリ

横浜美術館コレクションを活用した鑑賞授業

プレゼンテーション作成に関わる基本操作 ※【】=操作アイコン

■ 配置変更

- (1) 変更したいイメージをタップ
- (2) 【👉】>【配置】>【背面へ/前面へ移動】をスワイプ



■ 背景色の塗りつぶし

- (1) 【👉】>【スライドレイアウト】>【背景】



Keynote の使い方を調べたいときは以下のオンラインヘルプをご参照ください

Apple>iPad 用 Keynote の使い方>Keynote ヘルプ
<https://help.apple.com/keynote/ipad/3.3/>